ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌

第63号

2025年3月31日

発　行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり
協議会

地域コミュニティ情報サイト「さぎ山の広場」では、掲載情報を募集しています！
地域の出来事、募集情報等があれば sagiyama.machikyou@gmail.com にご連絡ください。



二十歳のつどいの写真は、左上ＱＲコードからご覧いただけます。

鷺山校区　二十歳のつどい　謝辞

本日は、私たちの人生の節目にあたってこのような会を開いて頂き、誠にありがとうございます。また、本日ご来賓の方々、自治会長様、多くの方々より励ましの言葉を賜りまして、平成28年度卒業生を代表し、心より感謝申し上げます。

今までの20年間を振り返ると、嬉しいことや悲しいこと、時には辛い思いをしたことなど、たくさんの出来事が思い出されます。それらを乗り越えて成長することができたのは、いつも私たちを支え、見守り、励ましてくれた家族、友人、地域の皆様のおかげだと大変感謝しております。私たちは現在、学生として勉学に励む者や社会人として働く者など立場は様々ですが、それぞれが充実した人生を歩んでいます。様々な制限が解除され、かつての暮らしが戻りつつある今、初めての経験に戸惑いながらも努力を積み重ねています。この先どのような困難に直面しようとも、この地で培った知識や経験を糧に、責任ある大人としての自覚をもち、社会に貢献していきます。

私は、将来主に地域社会で働く弁護士になりたいと思い、大学で法律の勉強をしています。学業に部活動に大変ですが、とても充実した日々を送っております。そんな現在の私があるのは、家族のおかげです。高校時代、多くの壁にぶつかり何度も挫折を経験し、家族と衝突することもありました。それでも最終的にいつも私の選択の後押しをして、支えてくれた家族には感謝しかありません。

また、私の姿を見つけるといつも応援の言葉をかけてくださった地域の方々もいらっしゃいました。沢山の方々の支えがあったからこそ、現在の私があります。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。

最後になりますが、これまでの20年間を見守り、支えてくれた家族、また愛を持ってご指導をしてくださった諸先生方、さらには本日の式典を開催してくださった自治会をはじめ、地域の皆様に改めて感謝申し上げるとともに、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、20歳を代表して謝辞とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございました。

令和七年一月十二日

平成28年度　鷺山小学校卒業生代表　髙垣　乃愛

鷺山青少年育成市民会議だより

第14号

子どもの笑顔があふれる鷺山地域をめざして



会長　小森　健司

令和6年11月30日(土)、地域と学校が一緒になって「三世代交流秋の祭典」を開催しました。子ども会育成会や体育振興会、まちづくり協議会、青少年育成市民会議が様々なゲームや体験活動を担当し、公民館や老人会、鷺山小学校PTAや中高生のボランティア等が運営に加わり、まさに地域を挙げて子どもたちとの交流を楽しみました。

当日はやや寒い日となりましたが、子どもたちからは笑顔があふれ、様々な世代の地域住民の方との交流を楽しむ姿が見られました。特に、それぞれの活動場所で担当者に礼儀正しくあいさつをする姿や、相手の目を見て真剣に話を聞く姿、高学年の児童が下学年の児童の様子を優しく見守り声をかけながら活動する姿、リーダーを中心にして校内を静かに整然と移動する姿など、鷺山小学校児童の皆さんの素晴らしい姿をたくさん見ることができ、すがすがしい気持ちになりました。地域の参加者からも、子どもと共に楽しく活動できた喜びの声を、たくさん聞くことができました。こうした活動を通して、子どもたちがますます地域を好きになり、様々な活動に積極的に参加する姿をめざしていきたいと思います。



さて、この他にも、鷺山青少年育成市民会議では、鷺山の青少年の健全育成のために、様々な活動に取り組んできました。昨年度から始めた「あいさつ運動」は、今年度も4回実施し、あいさつを交わすことで、子どもたちとのつながりを深めてきました。特に、今年度は青山中学校にもおじゃまをし、中学生ともあいさつによる交流を進めてきました。

高校生・大学生による「鷺山まちづくり活動グループ」の皆さんは、夏祭りや二十歳のつどいなどで、地域の担い手として大活躍をしました。その活躍が認められ、**岐阜市の市民会議表彰**を受けました。

また、小中学生の皆さんは、夏祭りや市民運動会などの地域活動に積極的に参加し、地域住民の皆さんと共に楽しむことができました。さらに、中学生の皆さんは、地域行事をボランティアとして支え、多くの生徒の皆さんが人の役に立つ喜びを感じてくれたようです。来年度は、まちづくりについて考える「青山中学校まちづくり生徒会(仮称)」を立ち上げ、中学生の地域活動への積極的な参画をめざします。

乳幼児を対象とした「親子ふれあい教室」や「さぎっ子くらぶ」では、子育て中の親子の皆さんが、積極的に交流して仲を深めることができたようです。特に鷺山独自の「さぎっ子くらぶ」の活動が認められ、**「岐阜県地域子ども支援賞」**を受賞しました。

鷺山小学校の学校園有効活用プロジェクト「ミニトマト栽培」では、2年生の子どもたちが野菜作りに親しみ、生命尊重の心を育みました。この活動は3年計画で進めてきましたので、今年度で一旦終了する予定です。

この他にも、子どもたちの安全を守るために、毎月の見守り活動をはじめ、不審者情報が報告された時や事件が起きた時の緊急パトロールにも、地域の各種団体の皆さんと共に取り組んできました。

こうした活動を通して、鷺山に住む青少年が、日々安心して自分らしく過ごすことができるように、これからも精一杯努めてまいりたいと思います。地域住民の皆様には、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

親子ふれあい教室を通して地域で子育て支援

家庭部会長　石原　志保

今年も鷺山青少年育成市民会議、岐阜市社会福祉協議会鷺山支部共催で「親子ふれあい教室」が開催されました。

鷺山校区にお住まいの0歳児の子育てに奮闘中の10組22名の親子の皆さんが参加されました。

第1回「親子でふれあい遊び」

第2回「乳幼児の救命講習」

第3回「ぎふ木遊館で遊ぼう」

第4回「クリスマス会」

第1回及び第4回は、鷺山保育所の先生による親子でスキンシップを楽しむ体操やパネルシアター、大きな絵本に、子どもたちは興味津々でした。また手形アートでオリジナルのぞうの親子を制作しました。

第2回は、岐阜北消防署員の方を講師に招き、乳幼児の救命講習を行いました。

みんなで広げよう！鷺山あいさつの輪・和・環

鷺山の子ども達に、素敵なあいさつを届けよう！





乳児の人形を使用して心肺蘇生の方法やＡＥＤの使用方法を学びました。

第３回は学園町にあるぎふ木遊館で開催しました。木のぬくもりあふれるたくさんのおもちゃでおもいっきり遊ぶことができました。

第４回のクリスマス会では、大きなツリーの前で、親子ごとの写真を撮り、特別な一枚になりました。サンタさんからの絵本と折り紙のプレゼントに子どもたちは大喜びでした。

今後もこのような活動をしながら地域全体で子育てに奮闘中のお母さんやお父さんのお力になれればと思っております。

鷺山まちづくり活動グループ　青少年育成部会長　堤　崇



まちづくり活動グループは、主に青山中学校を卒業した高校生、大学生、社会人で構成された地域の若者による、まちづくり活動グループです。

グループでは、次の理念を掲げて活動しています。

「まちづくりは、人づくりである。地域貢献活動を通して、世代を超えた心の繋がりを作り、心豊かな社会を作る事に寄与することを目標に活動する」

また、本年度の活動目標として、**「勤勉であれ！誠実であれ！」**を掲げ、目標理由として、

＊勉強、部活、ボランティア活動、仕事、全てのことに対して、誠実に勤勉に取り組むことは大切な事　何故か？一人ひとりの能力や得意とすることは違いますが、自身の中で、誠実に勤勉に精一杯取り組むことで、人と比べてではなく、自らの姿勢に誇りを持つことが出来るからです。

本年度も約30回の活動を行いました。鷺山夏祭り大会では、ポスター制作、露店販売やお化け屋敷のお手伝い等、二十歳のつどいでは、実行委員として、会場の準備・後片付け、音響担当、メッセージポスター制作等を行いました。高齢者の方を対象にした「ふれあいいきいきサロン」では、ご高齢の皆様にとって懐かしい昭和にまつわるクイズを考えて楽しんで頂けました。

また、広い視野でまちづくり活動を考えるため、毎月　定期研修活動を行い、様々なテーマで学ぶ活動も行っています。一例として

・ＳＤＧｓ　1.「貧困をなくそう」より　相対的貧困世帯の子供について

・高齢化社会における地域づくりについて

・「選挙と政治と私たち」

・災害への備えと避難所開設について

・子どもの非認知能力を高める体験学習についてといった、幅広いテーマで学ぶことから、今の地域社会の中で自分にできることを考えてきました。こうした活動を通して、地域の若い方が　利他的な広い心を養い、生き方を模索しながら、自身と周りの人の幸せを願える人になっていってくれることを願っています。

社会環境部会　振り返り　社会環境部会長　矢上　貴夫

今年度を振り返りますと、鷺山校区内では不審者情報や北消防署前の自傷行為など、市民を不安にさらす一年だったと思います。こうした事件に巻き込まれないために鷺山校区では防犯パトロールなどをしており、各自治会に少年補導員さんたちも加わり活動いたしました。

ただ、パトロールでは特に問題はなく、子どもたちも安心して日常生活を送れるようにも思えますが、今はＳＮＳトラブルが多数あるようです。また、違法なオンラインカジノなんてものが話題にもあがり、日々、ネットでの犯罪と隣り合わせだと感じており、我々、大人たちもＳＮＳトラブルの概要をもっと知る必要があるのではないでしょうか。

岐阜県には『岐阜県防犯アプリ』というアプリがあります。（左のＱＲコードを参照）先般の事案は自傷行為ではありましたが、事件発生して直ぐに情報がこのアプリに掲載されました。このような情報も皆で共有していくことが、地域の子どもたちの安心安全に繋がっていきますので皆さまも、是非ご活用ください。次年度も地域の大人たち皆で子どもたちを守っていきましょう。



App Store　Google Play

家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう！『我が家のルール』」皆さんの家にも我が家のルールありますか？

インリーダー活動を通して

子ども育成部会　長屋　幸知



日頃は、鷺山校区子ども会育成会および、インリーダーの活動に関しまして、あたたかく見守ってくださりありがとうございます。今年度インリーダーの主な活動として、鷺山夏祭り大会と鷺山校区文化祭で「鷺山パン」を販売しました。夏は地元産の枝豆を使ったパン、秋はJAぎふ鷺山支店さん協力のもと、インリーダー生が苗植えから携わったさつまいもを具材にしたパンを販売し、どちらも好評をいただきました。

また、今年度は子ども会育成会の新たな試みとしてハロウィンイベントでお菓子みこしを作成しました。残念ながら悪天候により、町の練り歩きはできませんでしたが、お菓子みこしを組み立てる際、たくさんの子どもたちが参加し多くの笑顔をいただきました。





来年度も地域に貢献できるよう活躍の場を広げると共に、子どもたちの笑顔を増やす活動をしていきたいと思います。今後とも鷺山校区子ども会育成会、インリーダー生をどうぞよろしくお願いいたします。

さぎっ子くらぶでお友達作りしましょう

子育て支援部会　尾藤　ひとみ



「さぎっ子くらぶ」とは未就園児の親子を対象に開催しているサークルです。８月を除き毎月第２木曜日の午前10時から１時間程正木公民館で活動してきました。

季節行事に合わせた工作を鷺山保育所・日光児童センターの先生・保健師さんに依頼したり、鷺山校区老人クラブ連合会の方と交流したり、JAぎふ鷺山支店でのさつまいも掘り体験をしたりして地域の方々と一緒に活動しています。最近では０歳児の参加も多くなりましたので、タイミングを見てベビーマッサージも行っています。

地域の皆様のご協力を頂き、参加してくださる親子さんから元気をもらい10年以上続けて来られました。今年度自治会連合会長様が推薦してくださり「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞することができました。今後も親子同士の交流の場となりお友達作りに少しでもお役に立てればと思います。参加は自由ですから一度様子を見に遊びに来て頂ければ嬉しいです。



「すごくおいしいトマトつくってたべよう」

副会長　市橋　正一



最終年度になりましたが、表記の活動を鷺小２年生対象に４月～７月に実施しました。今年度はミニトマトのアイコの接ぎ木苗を購入し、24Ｌの袋入り培養土を使ってそのままの袋で栽培しました。

培養土は市販の24Ｌの袋入りをホームセンターで購入し、ボランティアの方にお手伝い願って、袋の下部に園芸用４本ホークで、裏表２段計16カ所の穴を開け、排水できるように準備し、袋の上を切り取り、封をあけて教材園に並べ植え付けました。

毎月第３日曜日は、『家庭の日』です。家族でいっしょに過ごして楽しい団らんを！



の準備をしました。
植え付けは４月22日、23日、24日に各クラスの生活科の時間を使って袋の培養土に、子どもたちが直接苗を植えました。栽培管理は、雨除けと雨の当たる状態で栽培し、潅水は児童に任せ、児童が出来ない誘引用の支柱の設置、雨除けのためのフレームの設置などの栽培管理は、ボランティアの方々に手伝ってもらいました。
５月15日（３組）、16日（２組）、17日（１組）にトマトの芽欠きと誘引の説明を行い、その作業を行いました。その後の児童への栽培管理の指示は、必要に応じて掲示で行いました。さらに、風通しを良くするため下葉の摘除、長く伸びたトマトの先端を花房５～６段で摘除し芯止めしました。
大過なく６月末には収穫に至りました。試食は、６月26日（３組）、７月１日（２組）、３日（１組）に行いました。各クラス児童に、屋根ありと屋根無しのトマトを１個ずつ配布して、試食してもらいました。試食の前に、
・雨が降るとひび割れトマトが多くなること
・屋根無しのほうが収穫量が多いけど雨でひび割れるもの多くなること
・屋根有りトマトのほうが甘いけど実は小さいこと
などを説明し、試食してもらいました。
試食の結果は、屋根ありは（黄色シール）、屋根無しは（青色シール）を、「あまい」、「すっぱい」、「どちらでもない」、に分けて表に貼ってもらいました。
その他に、トマト栽培、試食の感想を後日お手紙で報告してもらいました。
２年生のトマトに対する接し方をみていると、学校教育の大切さが良く分かる経験でした。この取り組みでは３組の安藤先生、２組の篠原先生、１組の小川先生ならびに校長先生、教頭先生には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。







岐阜市「家庭の日」推進大会 推進員 後藤 真奈美

令和７年１月26日（日）に、第51回岐阜市「家庭の日」推進大会が、『心豊かな明るい家庭づくり』～親子のコミュニケーションを考える～をテーマに開催されました。
AIの急激な進化とともに、人間関係の希薄化など、社会環境が大きく変化している今こそ、家庭・家族の在り方を見つめ直すことが必要だと考えます。青少年育成市民会議では青少年の健全な育成を図ることを目的として、毎月第３日曜日を「家庭の日」と定めています。明るく楽しく対話のある家庭づくりを支え育てることを目指し啓発活動の普及を推進しております。
健全な子どもたちの育成の基盤は家庭にあります。地域教育の中では呼びかけることしかできませんが、「家庭の日」をきっかけにして家庭の大切さや家族のあり方について、地域全体が見つめ直す機運が高まることを目指していきたいと思います。
また、第１ブロック青少年育成市民会議では、「子どもの笑顔に会える地域活動」を目指して次の五点に重点を置き、継続的な活動の充実を図っていきたいと思っています。

○「決めて、守ろう」『我が家のルール』運動の推進
○毎月第３日曜日は「家庭の日」の普及啓発
○「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進
○「岐阜市子ども・若者生き生きプラン」の推進
○小・中学生、高校生、青年の地域活動への参加・参画の促進

第１ブロックの家庭の日普及に向けたキャッチコピーは

ファミりん ふれあい 大家族



令和16年（2034年）には、織田　信長公　生誕500年

第63回 鷺山校区 市民大運動会

令和６年10月13日（日）に、岐阜市立鷺山小学校グラウンドにて、第63回　鷺山校区市民大運動会が開催されました。前日並びに開催当日の朝に鷺山体育振興会や鷺山自治会連合会の皆さんが、会場の準備を整えてくださいました。また、青山中学校の生徒の皆さんも、運営ボランティアとして多くの皆さんが参加してくださいました。



市民大運動会　開会にあたり、鷺山自治会連合会　水野　吉近　会長から挨拶があり、令和６年９月22日（土）に発生した能登半島豪雨災害により犠牲になられた皆様に対して黙祷が捧げられました。

はじめに、競技に参加される皆さんがけがをしないように、全国ラジオ体操連盟公式ラジオ体操指導員の山内　香織さんの指導の下、ストレッチやラジオ体操に取り組みました。





今年度の市民大運動会も個人参加によるエントリーを中心に、様々な競技が繰り広げられました。小学校児童、中学校生徒を対象にした障害物競走や、親子参加など様々な競技に大きな声援が寄せられる中、熱戦が繰り広げられました。

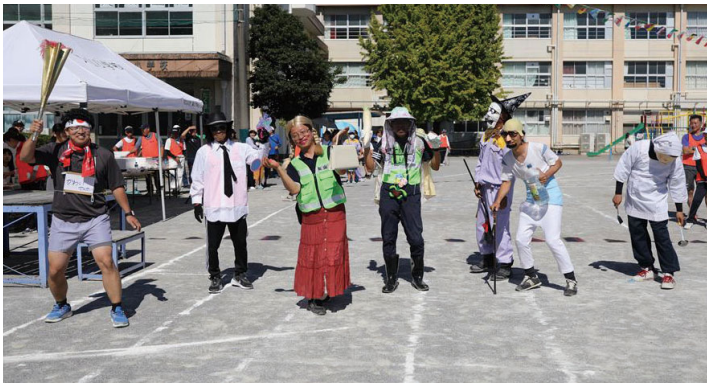




また、今回は、東西対抗綱引きが行われ、東西に分かれて綱引きにより競いあいました。その結果、東軍が綱引きを制しました。市民大運動会を締めるのは、恒例の各種団体競技です。鷺山自治会連合会、鷺山体育振興会、鷺山スポーツ少年団、岐阜市北消防団鷺山分団、鷺山水防団、鷺山小学校ＰＴＡ、鷺山青少年育成市民会議の皆さんが、ボール蹴りや二人三脚、降水確率100％など様々な競技に取り組みました。最後は、各団体の皆さんによる仮装パフォーマンスによる周回が行われ、会場を最高潮に盛り上げてくれました。最初から最後まで本当に楽しい競技満彩の運動会となりました。

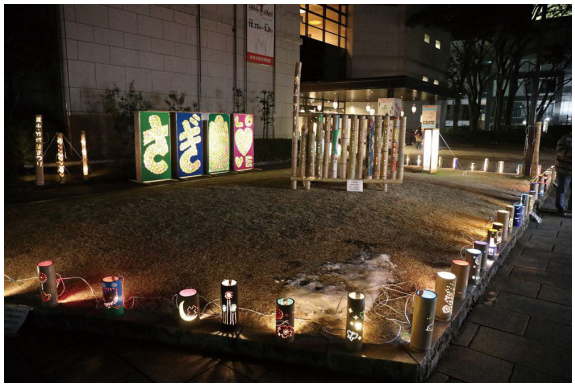






ぎふ灯り物語2025 鷺山の竹灯籠の作品を展示！

令和７年１月18日（土）～26日（日）の９日間、岐阜公園周辺の会場において、ぎふ灯り物語２０２５が開催されました。今年も、鷺山小学校児童、青山中学校美術部有志の皆さんが制作した竹灯籠作品を展示しました。今年の展示場所は、昨年度から変わって、岐阜市歴史博物館北側の広場になりました。



会場では、キッチンカーも多数出店されていて、多くの来場者が灯りのイベントを楽しみに訪れていました。ぎふ灯り物語の展示では、恋する冠木門、和傘楽団、奇跡の崖などのテーマ別の展示や、正法寺エリアでも展示が行われました。



令和７年１月18日（土）には、点灯式が執り行われ、灯りの展示物に明かりが灯されました。鷺山小学校児童、青山中学校美術部有志の皆さんの作品の展示は、18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日）の４日間実施しました。ステキな竹灯籠の作品の明かりが、ぎふ灯り物語２０２５に彩りを添えたことでしょう！







みんなで力を合わせて！ 鷺山整備活動

令和６年12月15日（日）、令和７年１月19日（日）、２月16日（日）に、鷺山公園にて、里山整備活動に取り組みました。鷺山の整備活動では、鷺山公園西側の心洞寺周辺に広がる竹林を中心に整備活動を行いました。毎年生えてくる竹は放置しておくとすぐに密集してしまい、竹藪になってしまいます。この日も、細いモウソウチクを中心に、伐採を行い、処理をしていきました。岐阜市公園整備課の皆さんに、パッカー車を派遣して頂き、伐出した竹を処分していきました。たくさんの伐採した竹をパッカー車に搬出することが出来たことで、林内の景観も非常にスッキリした状況になりました。最終日には、参加してくださった鷺山自治会連合会　副会長の山田　美代治さんからおしることお漬物が振る舞われました。







令和17年（2035年）には、濃姫生誕500年を迎えます。鷺山の活性化に繋げていこう！

「避難用持ち出し袋」の準備はしていますか？また、準備をされている方も、中身の点検を行っていますか？

鷺山校区文化祭が開催されました

令和６年11月30日（土）、12月１日（日）の２日間で、岐阜市立鷺山小学校体育館やピロティ、グラウンド等各所にて、鷺山校区文化祭が開催されました。日頃、鷺山公民館で活動をされている公民館クラブの皆さんの制作作品をはじめ、地域住民の皆さん、各種団体の皆さんが制作された作品が数多く展示されました。



屋外では、鷺山体育振興会の皆さんによるグラウンドゴルフ大会も開催され、多くの皆さんがゴールポールめがけてボールを打ち込んでいました。

また、今回は防災に関する体験、展示も実施され、ピロティにおいては、様々な販売、飲食コーナーも催され、みたらし団子や大学いも、豚汁、鷺山校区子ども会育成会インリーダーによる鷺山パンの販売、JAぎふ鷺山支店による新鮮野菜の販売も行われました。



岐阜市北消防団鷺山分団によるポンプ車の放水体験や避難所開設備品の展示も行われました。







ハンガーを活用したクリスマスリース制作も行われました。



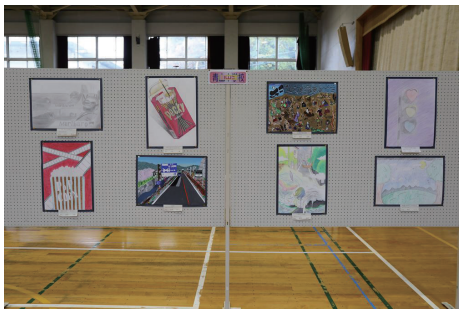
岐阜市都市美化推進連絡協議会鷺山支部でも、雑がみ回収ブースが運営されて、



来場者からたくさんの雑がみを回収することが出来ました。本当に多くの皆さんがご来場くださり、心温まる文化祭を開催することが出来ました。このような文化祭の運営にあたっては、本当に多くの皆さんの協力により開催すること出来ました。ご協力を頂いた皆さんに対して改めて御礼申し上げます。



鷺山校区文化祭
フォトギャラリー







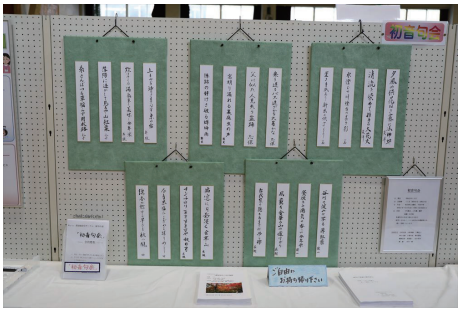












定期的な点検を行って、必要な物を準備しておきましょう。

鷺山福祉
第72号
発行
岐阜市社会福祉協議会
鷺山支部
TEL 231-0040

みんなあつまれ！ 子育てサークル さぎっ子くらぶ



令和6年9月12日（木）に、正木公民館にて、さぎっ子くらぶが開催されました。この時は、鷺山校区老人クラブ連合会の皆さんに来て頂いて、一緒に遊びました。まだまだ朝から暑い中を13名の老人クラブ会員の方とさぎっ子くらぶ4組の親子で、手遊び、マラカスや鈴を使って歌に合わせてリズム遊びをしました。

その後、17日の十五夜にあわせて簡単な飾りを作りました。小さな子どもたちができるようにとシールを貼っていくものですが、皆様にも喜んでいただけました。

最後に、パラバルーンで遊びました。皆さんにお手伝いして頂いてパラバルーンを持って頂いて下をくぐったり、ボールを乗せて落としたりして楽しみました。ちょっと人見知りの子どもの中には、いつもと違う顔ぶれと多い人数に戸惑いお母さんから離れられない子もいましたが、次第に落ち着きを見せてくれました。



令和6年11月9日（土）に、JAぎふ鷺山支店のご支援により、さぎっ子くらぶ参加者にさつまいも掘りをさせて頂きました。秋晴れとなった空の下、10家族の参加で小さな手にスコップを持って集まってくれました。JAぎふ北部営農経済センターの川瀬　匡貴さんから、さつまいもの掘り方について、説明を頂きました。



さつまいもがここまで大きくなるまでには、苗の植え付け、水管理や施肥、雑草管理などの日頃の管理をJAぎふ鷺山支店の皆さんが担ってくださいました。

今年は、紅あずまという品種で、早速、みんなでいも掘りにチャレンジです。準備をして頂いたお陰で小さい子どもたちでも、少し頑張れば掘ることができました。掘り出した大きなさつまいもに、子どもたちも嬉しそうでした。ちっちゃなものから大きいものまでみんなで分けて持ち帰ってもらいました。一生懸命掘ったさつまいもですが、1ヶ月は風通しの良い日陰で寝かせた方が美味しくなると教えてもらったので、よりおいしくなったさつまいもを楽しんでもらえたのではないかと思います。





令和6年12月12日（木）に、正木公民館にて、さぎっ子くらぶ　クリスマス会を開催しました。冷え込んだ朝でしたが、13組の親子の参加があり、部屋の中はすぐに暖かくなりました。0歳児のお子さんも多く、まだ一緒に手遊び等はできませんが、お母さんに抱っこし

ご協力誠にありがとうございました。

「あなたの個人情報が漏れている」「ウィルス対策費用が必要だから電子マネーで支払を」
「還付金の期限が来ているので、今すぐATMで手続きを」

「仕事で急なお金が必要になったので、部下が取りに行く」など、「お金」の話が出たら、それは詐欺を疑って、家族に相談をしましょう！





てもらったり、お膝の上に座って音楽に合わせて体を揺らしたりしていました。その後、参加者みんなで、立体的なクリスマスツリーを作りました。1、2歳児はシール貼りを頑張りました。出来上がった物をツリーに掛けてサンタさんも一緒にみんなで写真撮影です。その後、クリスマスの絵本とクリスマスバージョンの手遊びをしてから、サンタさんからプレゼントを配ってもらいました。





令和7年2月13日(木)に、正木公民館にて、さぎっ子くらぶが開催されました。雪は、一段落したもののまだまだ寒い日が続いていますが、6組の親子が元気に集まってくれました。この日は、日光児童センターの三宅先生に来て頂きました。リズム遊びでは楽しく声掛けをしてもらえました。紙芝居の後は工作です。立体感のあるお雛様の壁掛けにチャレンジしました。子どもたちが紙をクシュクシュにして立体的な体を作りました。是非お家で飾ってくださいね。

また、この度さぎっ子くらぶの長年の活動が評価され、岐阜県より「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞しました。







正木地区



鷺山地区

令和6年度　第2回 ふれあい・いきいきサロン





緑ヶ丘地区



古川地区



清洲地区

歳末助け合い募金では　431,836円の募金が寄せられました。

鷺山公民館が、鷺山小学校敷地内から、鷺山中洙土地区画整理事業区域内へ移転！
鷺山子ども館との合築施設として新たなスタートを切ります！





令和６年度末をもって、鷺山小学校敷地内にあった鷺山公民館は、閉館となります。令和７年度からは、鷺山中洙土地区画整理事業区域内にて、鷺山子ども館との合築施設として開館されます。今後は、子ども達が元気いっぱい楽しむ場となる鷺山子ども館と共に地域住民の交流の場、まちづくりの拠点として活動していけるように取り組んでいきます。公民館で取り組んでいるクラブ活動も５月から新たな施設で再スタートされます。また、地域住民の皆さんの一般利用も、ゴールデンウィーク明けには、スタート出来るように準備を進めていきます。これからもよろしくお願いいたします。

なお、鷺山公民館の移転に伴い、**『危険物・廃食油等の収集場所及び廃蛍光管・乾電池ボックスの設置場所』**が、鷺山公民館・鷺山子ども館合築施設の北側に移転します。令和７年４月以降は、新施設の設置場所にお持ち頂きますようお願いします。

『鷺山まちづくり協議会からのお知らせ』
LINEオープンチャットを開設しました。
奮ってご参加をお願いします！

LINE OPENCHAT

コミュニケーションアプリ『ＬＩＮＥ』のオープンチャットを活用して、鷺山まちづくり協議会をはじめ、鷺山に関する様々な情報(イベント情報、参加者募集情報、防災情報等)を皆様にお届けいたします。

このオープンチャットは、スマートフォン等でＬＩＮＥを使っている方であれば、簡単に設定し、情報を入手することが出来ます。オープンチャットでは、参加者同士が友だち登録をしなくても、グループに参加することが可能なので、加入者のプライベートを守ることできます。右のＱＲコードを読み込み、オープンチャットへご参加頂ければ幸いです。